

公益財団法人鳥取市文化財団職員

学 芸 員 募 集 要 領

1. 募集する職種及び採用予定者数、勤務条件等

(1) 職 種：学 芸 員（正職員・美術系）

(2) 職 務 内 容：鳥取市歴史博物館において近世・近代の美術・工芸等の作品・資料の調査・研究、収集・保存、展示・公開、教育・普及等の業務及びその他鳥取市歴史博物館の運営に関する業務及び一般事務

(3) 採用予定者数：1名

(4) 勤 務 時 間：8時30分から17時30分（週40時間）

(5) 休 日：月曜日、祝・祭日の翌日、その他火～日曜日の中で調整）

(6) 基 本 給：大学卒 171,700円（初任給）

当財団規程により前歴換算有り

（例）大学卒 採用前に同種の職務経験が

5年ある方 195,500円

10年ある方 211,300円

大学院修士課程修了 採用前に同種の職務経験が

5年ある方 206,300円

10年ある方 220,600円

(7) 手 当：扶養手当、住居手当、通勤手当、時間外・休日勤務手当、
期末・勤勉（賞与）手当

(8) 福 利 厚 生：健康保険、厚生年金、雇用保険適用

(9) 勤 務 場 所：鳥取県鳥取市上町88番地 鳥取市歴史博物館

(10) 試 用 期 間：採用の日から6カ月間

(11) そ の 他：当財団所管施設への人事異動あり

2. 受験資格

(1) 博物館法に基づく学芸員資格を有する者又は採用時まで取得見込みの者

(2) 学校教育法に基づく大学（大学院を含み、短期大学を除く）において、美術等を専攻し、卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者

(3) パソコンに関する基本的な知識や操作能力を有する者（Word、Excel、PowerPoint）

(4) 普通自動車第1種運転免許取得者又は採用後1年以内に取得見込みの者

3. 試験内容

第一次選考 書類選考（履歴書、職務経歴書、研究業績一覧表、論文審査）

第二次選考 面接試験、適性試験、小論文試験

※第二次選考は、第一次選考合格者のみとします。

4. 第二次選考日及び会場

- (1) 日 時：令和5年2月17日（金） 13時30分から
- (2) 会 場：公益財団法人鳥取市文化財団 事務局
鳥取県鳥取市栄町655番地

5. 申込方法、期間

- (1) 申込方法：申込期間内に履歴書及び職務経歴書並びに研究業績一覧表（別紙のとおり）、論文（論文審査用）を下記申込先まで提出してください。
提出の際は封筒前面に応募職種名を記入のうえ、履歴書在中と朱書きしてください。
なお、履歴書は日本工業規格（JIS）で定められたものに、3か月以内に撮影した写真（上半身）を貼付してください。
郵送での申込みも受付けます。ただし令和4年12月23日（金）までに必着とします。
- (2) 申 込 先：〒680-0831 鳥取県鳥取市栄町655番地
公益財団法人鳥取市文化財団 事務局 （池上ビル2F）
- (3) 申込期間：令和4年11月1日（火）～令和4年12月23日（金）
- (4) 受付時間：午前9時～午後5時（ただし、土、日、祝日は除きます）

6. 論文作成要領

- (1) ワードプロソフトで、A4版縦長用紙に横書きで作成してください。
- (2) 1行40字、1頁36行、文字の大きさは10.5ポイント程度とし、2頁以内で下記の課題を項目立てして①、②両方を記載してください。
- (3) 図表、図面、グラフ、イラスト写真等の使用は可とします。文献等を引用した部分がある場合はその旨を明記してください。
- (4) 論文には必ず氏名を自署してください。
- (5) 論文は日本語で作成してください。
- (6) 課 題
 - ①これまでの研究業績のうち、あなた自身が最も成果があったと思う研究の内容とその成果
※これまでの研究業績の中から1つの研究テーマを挙げて、その目的、内容、成果等がわかるように記載してください。
※研究業績の記載にあたって文献を引用した場合は、文章中にその旨を記載するとともに、末尾に「引用文献」として列挙して出典を明らかにしてください。
 - ②鳥取市歴史博物館に勤務するとした場合に、取り組んでみたい研究テーマとその理由

7. 合格者発表

合格者発表：第一次選考 令和5年1月20日（金）までに本人に通知します。

第二次選考 令和5年2月28日（火）までに本人に通知します。

8. 採用日

令和5年4月1日付

9. 問い合わせ先

公益財団法人鳥取市文化財団 事務局

電話：0857-23-2410 FAX：0857-23-2420

◎この募集要領はホームページからも閲覧可能です。

以下の URL または二次元コードからアクセスしてください。

鳥取市文化財団ホームページ 学芸員（正職員・美術系）の募集について

<http://www.tbz.or.jp/blog/news/380>



研究業績一覧表

年 月 日

氏名

論文・著書・発表・資料調査実績等の名称	単・共著・分担 執筆等の別	発行・発表の年 月日又は期間	発行所・発表雑誌又 は学会等の名称	共著の場合の担当の項目名

【記入上の注意】 1枚以上となる場合は3枚を限度として記入すること。

※下記の項目別に記入してください。

1. 研究論文(卒業論文・修士論文も含む)

論文は、表題、単著・共著の別、発表年月、雑誌名（発行所）巻（号）（卒業論文・修士論文の場合は大学名）を記入

2. 著書（単著・共著・分担執筆）

著書は、書名、単著・共著の別、発表年月、発行所、（共著・分担執筆の場合は担当の項目）を記入

3. 学会等での研究発表

発表は、表題、単独・共同の別、発表年月、学会名称を記入

4. 資料調査実績

資料調査の実績がある場合は、その名称、期間、共同か単独かの別を記入

(公印省略)

芸短第 175-4 号
令和4年12月9日

関係各大学長
関係各大学大学院研究科長
関係各機関長

} 殿

大分県立芸術文化短期大学
学長 小手川 大助

教員の公募について (依頼)

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本学では、下記の要領により専任の教員を公募することいたしました。教育・研究はもとより、大学の運営に積極的に参加いただける有為な人材を求めています。

つきましては、貴学・貴機関関係者に周知いただき、適任者のご推薦または応募へのご配慮を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 所属学科 国際総合学科
- 2 職名 准教授、講師または助教
- 3 専門分野 日本文学、日本語学、日本文化
- 4 主な職務内容
 - (1) 主担当科目
日本の文化と社会、日本の伝統文化、現代日本論、検定日本語演習、文章表現Ⅰ・Ⅱ、日本語コミュニケーション、国際総合入門（オムニバス科目）、基礎ゼミナール、教養ゼミナール、キャリアデザイン、卒業研究Ⅰ・Ⅱ
 - (2) 兼担科目
文学（一般教養科目）、比較文化特論（専攻科共通科目、オムニバス科目）
 - (3) 教育・研究のほか、組織運営（学内の委員会等）、社会貢献（公開講座等）に関わる諸業務
- 5 採用人員 1名
- 6 採用予定日 令和5年4月1日
- 7 応募資格
 - (1) 日本文学、日本語学、日本文化などに関連する分野を専門領域とし、大学院修士課程修了もしくはそれと同等以上の教育・研究能力を有する者
 - (2) 日本の大学もしくは短期大学において2年以上の教育歴（非常勤を含む）を有する者
 - (3) 大分市または近郊に居住可能な者

8 提出書類および資料

- (1) 履歴書 (別記様式) 1 通
- (2) 最終学歴証明書 (学部卒業または大学院修了証書など) 1 通
- (3) 業績書 (別記様式) 1 通
業績書の概要欄に、それぞれ 200 字程度の概要を記入
- (4) 業績の主なもの 3 点 (著書、論文、訳書等、コピー可) 各 1 部
- (5) 教育研究に対する抱負 (書式自由、2,000 字程度) 1 通
- (6) 応募者に関する所見を求められる方 2 名の氏名、所属・職位、連絡先 1 通

※注 1 : 履歴書・業績書などの書式ファイルは、本学ホームページの教員採用のページに掲載しています。

(<https://www.oita-pjc.ac.jp/daigaku/management/recruit/221209.html>)

※注 2 : 提出書類及び資料は、選考以外の目的で使用することはありません。また、審査終了後には、責任を持って廃棄します。なお、提出書類は、原則として返却しませんが、返却を希望する場合は、宛名記入・着払い送り状または切手添付の返信用封筒を同封してください。

※注 3 : 提出書類 (1) 及び (3) に関しては、本学指定の様式の項目を満たしていれば、それ以外の様式で作成しても構いません。

9 応募期限 令和 5 年 1 月 31 日 (火) 必着

10 書類提出先

〒870-0833 大分県大分市上野丘東 1 番 11 号

大分県立芸術文化短期大学 学長 宛

※注 : 封筒の表に「国際総合学科教員応募」と朱書きし、書留で郵送のこと。

11 選考方法

※第 1 次選考 : 書類審査、第 2 次選考 : 面接 (模擬授業を含む)

※面接予定 令和 5 年 2 月 19 日 (日)、20 日 (月) 本学にて (予定)

※面接を行う場合、令和 5 年 2 月上旬 (予定) に電話またはメールにてご連絡いたします。

※面接等にかかる旅費、宿泊費等の諸経費は、応募者の負担とします。

12 採用後の待遇

「公立大学法人大分県立芸術文化短期大学職員給与規程」、「同職員就業規則」及び「同職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する規程」等によります。

休日は、土曜日、日曜日を週休日とし、国民の祝日及び 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日までは勤務を要しません。また、労働基準法第 38 条の 3 に定める裁量労働制を導入しています。

13 問い合わせ先

国際総合学科長 高瀬 圭子

電 話 097-545-0542 (代表)・097-545-4349 (直通)

FAX 097-545-0543

E-mail takase@oita-pjc.ac.jp